



# 創刊号

2009年9月18日発行

# JABLAS NEWS

## 目次

### JABLAS NEWS 創刊号発行にあたって

JAB 試験所協議会 会長 井須雄一郎 . . . . . 1

### JABLAS 発足の意義と期待

財団法人 日本適合性認定協会 専務理事 井口新一 . . . . . 2

### 試験所認定制度への思いと JABLAS への期待

財団法人 日本冷凍食品検査協会 専務理事 松島芳文 . . . . . 3

活動報告 . . . . . 4

今後の予定、会員の状況 . . . . . 5

事務局紹介 . . . . . 7

## JABLAS NEWS 創刊号発行にあたって

中秋の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

JABLAS が 2009 年 4 月に発足して早くも 5 ヶ月が過ぎましたが、お蔭様で会員数も 9 月 15 日現在で機関・個人合わせて 181 になりました。この間、不確かさ講演会や内部監査員養成講座、専門部会懇談会等に多数ご参加いただき厚く感謝申し上げます。

JABLAS はご案内のとおり試験所・校正機関、臨床検査室の活性化を目的として、会員が運営していく組織です。試験所の悩みや課題について議論し、解決策を見出すことを目指していますが、このためには、会員間のコミュニケーションを円滑にしていくことが重要です。6 月から分野別の専門部会懇談会をスタートさせ、7 月にはホームページを開設しました。また、同じく 7 月より本格的に開設した相談コーナーについては、会員はもとより非会員の皆様からも好評をいただいております。

このたび当初計画でご案内しておりました JABLAS NEWS 創刊号発行の運びとなりましたので、会員の皆様へお届けいたします。

今後は四半期ごとの発行を目指していきたいと考えております。

事務局の不慣れのため、会員の皆様には何かとご不便をお掛けしていることが多々あるかと存じますが、会員の皆様から JABLAS NEWS はもとより JABLAS の活動全般に亘り、忌憚のないご意見をいただき、より会員の皆様に役立つ活動をしていきたいと考えております。引き続きご理解とご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員各位のますますのご隆盛をご祈念申し上げて、JABLAS NEWS 創刊のご挨拶とさせていただきます。



JAB 試験所協議会  
会長 井須雄一郎

## JABLAS 発足の意義と期待

JAB 試験所協議会（JABLAS）の発足にあたり、心からお祝い申し上げます。

JAB の試験所認定プログラムは 1996 年に開始いたしました。爾来、認定させていただいた試験所の件数は校正機関や臨床検査室を含めて 311 件（本年 9 月 1 日現在）に達しています。この認定数は、日本の経済活動規模を考えるとまだまだ少ないと言わざるをえません。試験所等がもっと多く認定をうけていただくためには、社会全般に試験所等認定制度の理解を広げていく必要があると認識しています。しかし、これまで JAB はこの普及活動を充分実施する事ができませんでした。

今回 JABLAS が発足し、試験所認定制度説明会、教育・研修の実施、あるいは最新情報の提供と課題解決に関連する活動などを展開されることになりました。これらの活動は、日本における試験所認定制度のさらなる発展と充実に寄与することを直接的な目的としていますが、試験等のデータが経済活動に果たす役割と重要性を考えると、その波及効果は計り知れないと思っております。新たに組織化を行い、活動を開始することのご苦勞を充分察しつつ、同時に今後の JABLAS の活動に大いに期待する由縁がここにあります。

また、会員各位におかれましては、より自律的に JABLAS の場を活用していただき、それぞれの立場でのデータの信頼性向上を推進し、業務効率の改善を図っていただきたい。言い換えますと、一方的ではなく、Two-way communications を促進する場として、JABLAS を利用していただき、JABLAS 自身もこの Two-way communications の推進を念頭に活動を充実させてほしいと思っております。

JAB は、認定機関として可能な限り JABLAS の活動に協力していきたいと思っております。そして、試験所認定制度の国内普及と拡充に留まらず、日本の試験所認定制度が世界のモデルとなり世界をリードすることを目指して、JABLAS 始め関係者の皆様と共に努力していく所存です。



財団法人 日本適合性認定協会  
専務理事 井口新一

## 試験所認定制度への思いと JABLAS への期待

はじめに、今回 JABLAS の発足と創刊号の発行についてお慶びを申し上げます。これまでの事務局皆様のご努力に改めて感謝いたします。

JABLAS の会員の皆様やこれから入会しようと考えている皆様は、色々な分野で試験・検査を行なわれていると思います。私共は、食品衛生法に定める輸入食品検査を始め輸出検査、冷凍食品の工場衛生管理検査・指導や各企業からの依頼分析や、衛生管理調査を行っている団体です。

私自身、輸入食品分析を中心に長年行っていましたが、当初、公定法がなく、各種文献（衛生試験法注解、検査指針、食品衛生学会誌、JAOAC）や、国立衛試、県衛生研究所の先生方から試験方法や精度管理手法を教わり、試験分析を行いました。その当時は本当に自分の試験結果が正しいのかバラツキや精度を悩んだ時代から、現在は、公定法が完備され、精度管理の手法も確立され、大きく発展しました。ただし、今でも、人とシステムと機器の3つの資質が高品質の検査結果を生むのはこれからでも同じと思います。

私は平成14年3月に農林水産省のISO実態調査で欧州にJAB青柳氏らと行きましたが、欧州は、販売、流通、検査にISOを普段着で使用している実態に驚き、日本ではなぜ、普段着で使っていないのが疑問に思えました。私の「なぜISOか」の質問に彼らは、「欧州は陸続きでありISOの基準で物を取引しないと経済的にも損失が大きいの」との回答にISOを完璧に利用していることが解りました。すなわち彼らはISOを経済生活の約束事（ルール）に使用していたのです。

検査・分析は食品に限らず、全ての分野において、人が機器を使い、その物の情報を目に見える形にして次に渡し、最終目的を達成させる手段であります。この手法は、これから益々需要が増し、人にとって欠かせない重要な仕事となります。それを大きく支えるには、人とシステムと機器であり、とりわけ人とシステムが重要です。正しい検査・試験結果を出し、最終目的を完成させ、社会に貢献することはこの分野の企業、団体の必須であり、その根幹となるのがISO/IEC 17025、17020等であります。

現在ISOを取得されている企業・団体やこれから取得しようとしている皆様が同じ目線で問題や悩みを議論し、解決させるのが今回発足した「JABLAS」です。是非、皆様が「JABLAS」を多いに利用され、皆様の企業や団体が発展し、さらには、日本の検査・分析レベルが世界に多いに貢献する時代が来るのを祈念し、「JABLAS」創刊号発行お祝いの挨拶とさせていただきます。誠におめでとうございます。



財団法人 日本冷凍食品検査協会  
専務理事 松島芳文

## 活動報告

### 1. 公開講演会、講座

下記のとおり講演会、講座を開催し、好評を頂きました。詳細は JABLAS ホームページをご覧ください。

#### 1) 第一回 JABLAS 発足記念講演会

2009年5月29日に「“測定の不確かさの表現の指針”(GUM)の詳細解説」をテーマとした講演会を(財)日本適合性認定協会(JAB)会議室にて開催しました。講師は JAB 認定審査員の西 帥毅氏で、参加人員は 65 名と盛況でした。

#### 2) 第二回 JABLAS 発足記念講演会

2009年7月27日に「不確かさの基礎 “繰り返し測定及び枝分かれ実験利用による不確かさの計算方法(ANOVA)”をテーマとした講演会を東京都品川区の「きゅりあん」にて開催しました。

講師は JAB 試験所技術統括マネージャ・JABLAS 代表幹事の青柳 邁氏、JAB 技能試験コーディネータの柿田 和俊氏、香川県立保健医療大学教授の細萱 茂氏、清川メッキ工業(株)伊藤 めぐみ氏でした。参加者は 85 名で、アンケート調査では、大変役立ったと好評をいただき、今後の開催を希望する声が多くありました。

#### 3) 第一回内部監査員養成講座

2009年8月28日、29日の両日に亘り、「Laboratory の内部監査(試験所、臨床検査室)」をテーマとした講座が JAB 会議室にて開催されました。

参加人員は 24 名で、座学のほか演習課題解決、グループ討議等を行い、ISO 15189 及び ISO/IEC 17025 規格の理解、内部監査の有効的実施方法の訓練を実施しました。講師は JAB 試験所技術統括マネージャ・JABLAS 代表幹事の青柳 邁氏でした。受講者全員には、講座終了後受講証が発行され、さらに試験に合格した人には 9 月 14 日修了証が送付されました。

### 2. 専門部会懇談会

来年 2 月に開催予定の専門部会において、各分野別の課題と取り組みを議論しますが、これに先駆けて専門部会懇談会を以下のように開催しました。詳細は JABLAS ホームページをご覧ください。

#### 1) 第一回化学専門部会懇談会

2009年6月22日に JAB 会議室にて開催し、試験所認定制度の課題や JABLAS 主催のセミナー、研究会、事例集作成等について議論しました。

#### 2) 第二回化学専門部会懇談会

2009年9月8日に JAB 会議室にて開催し、代表する会員機関からの提案および解決策について活発な討議が行なわれました。具体的なテーマも多く出され、次回には共通テーマと試験所固有のテーマを分けてまとめに入る予定です。

### 3) 第一回臨床検査専門部会懇談会

2009年7月2日にJAB会議室にて開催し、臨床検査室の活動に役立つ認定への提案やJABLAS主催の 세미나等について議論しました。抽出された課題を教わればよい内容と知恵を絞って解決する内容に分類し、今後の活動で解決策を見出すこととしました。

### 4) 第二回臨床検査専門部会懇談会

2009年9月10日にJAB会議室にて開催しました。第一回の懇談会の討議を踏まえて、委託検査室の認定業務および治験の認定ラボの要求事項に絞って討議が行なわれました。次回には具体的テーマのまとめに入る予定です。

## 3. 相談コーナー

7月に電話、メール、Fax等にて正式受付を開始し、8月末までに約20件の相談を受けました。相談内容は試験所認定申請までの準備、認定取得のためのマネジメントシステム、文書構築について等でしたが、各専門分野の事務局員が対応しています。案件によってはJAB担当者を紹介する例もありました。

この相談受付活動は、会員、非会員を問わず受け付けており大変好評です。

## 今後の予定

### 1. 第二回内部監査員養成講座

開催日 2009年11月20日、21日

開催場所 JAB会議室

現在参加申し込み受け付中です。詳細はJABLASホームページをご覧ください。

ホームページの「講演会・公開講座一覧」ページの「受付中」(赤いマーク)をクリックしますと、受講申し込みができます。

### 2. 専門部会懇談会

#### 1) 第一回機械・物理専門部会懇談会

開催日 2009年10月9日

開催場所 JAB会議室

#### 2) 第三回臨床検査専門部会懇談会

開催日 2009年11月12日

開催場所 JAB会議室

#### 3) 第三回化学専門部会懇談会

開催日 2009年12月2日

開催場所 JAB会議室

### 3. 専門部会

開催日 2010年2月予定

詳細はJABLAS ホームページにて12月中旬ごろ発表いたします。

### 4. 総会

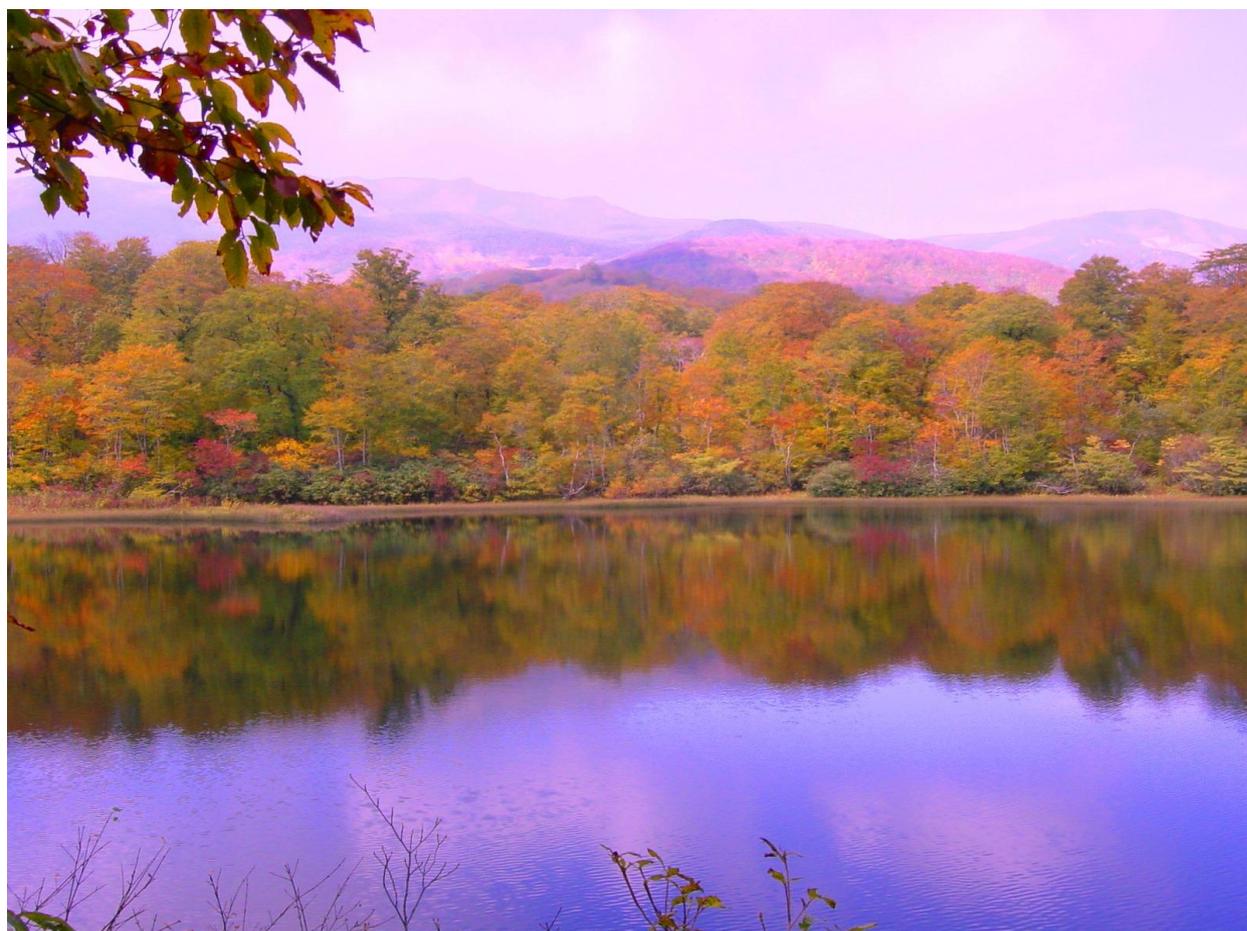
開催日 2010年3月予定

詳細はJABLAS ホームページにて12月中旬ごろ発表いたします。

## 会員の状況

2009年9月15日現在の会員数は、機関会員79、個人会員102で合計181となっています。引き続き新規会員募集を行っておりますので、是非ご関係の機関、個人の方へのお誘いをよろしくお願い申し上げます。

JABLAS ホームページの「JABLAS 会員」ページから入会手続きができます。なお、会員一覧を9月14日にJABLAS ホームページに掲載しましたので、是非ご覧ください。



焼石岳中沼の紅葉

(財)日本適合性認定協会 認定センター 久保野 勝男氏 撮影

## 事務局紹介

JABLAS の事務局は写真のスタッフ 7 名です。  
いずれもタイムシェアで対応していますので、多少ご不便をお掛けすることがあるかと存じますが、会員の皆様にはご遠慮なくご活用くださるようお願い申し上げます。

JABLAS 事務所は（財）日本適合性認定協会事務所内にありますので、お気軽にお立ち寄りくださるようお願いしております。



JABLAS 事務局スタッフ 左から島田、市川、木村、山中、井須、青柳  
森（写真なし）

**編集兼発行人** 井須 雄一郎 **発行所** J A B 試験所協議会

**住所**：〒141-0022 東京都品川区東五反田 1 丁目 22 - 1 五反田ANビル 3 F 財団法人日本適合性認定協会内

**電話**：03 - 5798 - 8820 **FAX**：03 - 5798 - 8821 **E-MAIL**：info@jablas.jp **URL**：http://jablas.jp

※無断で複製、転載等を禁じます。